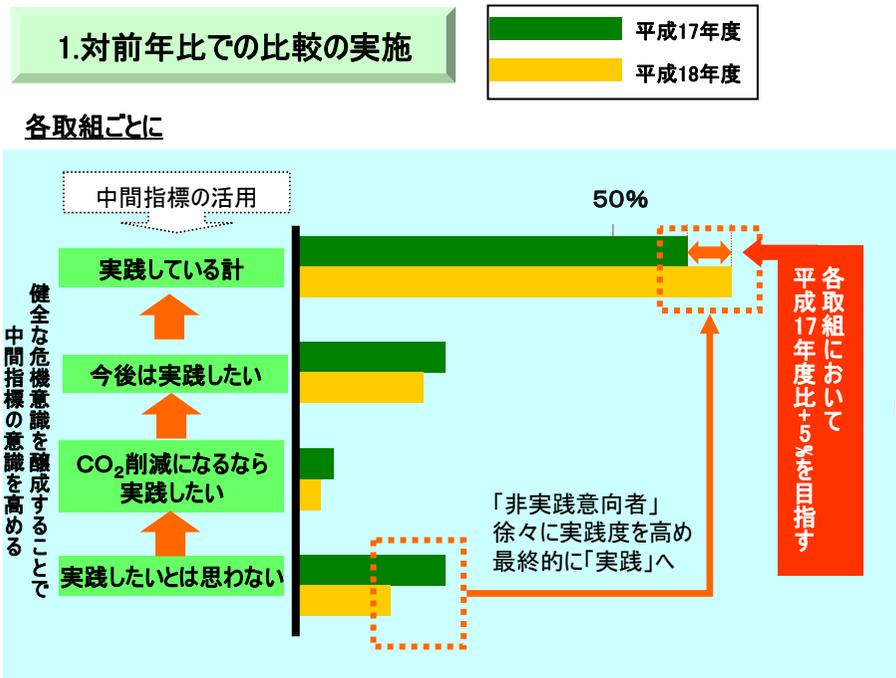
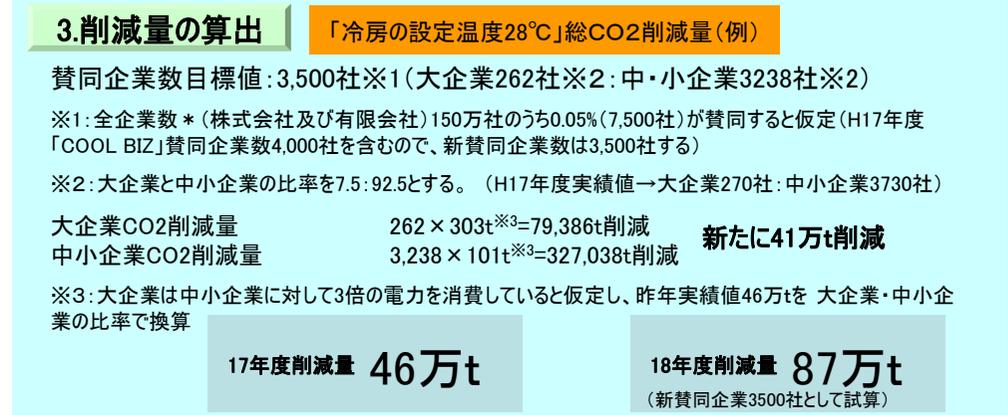
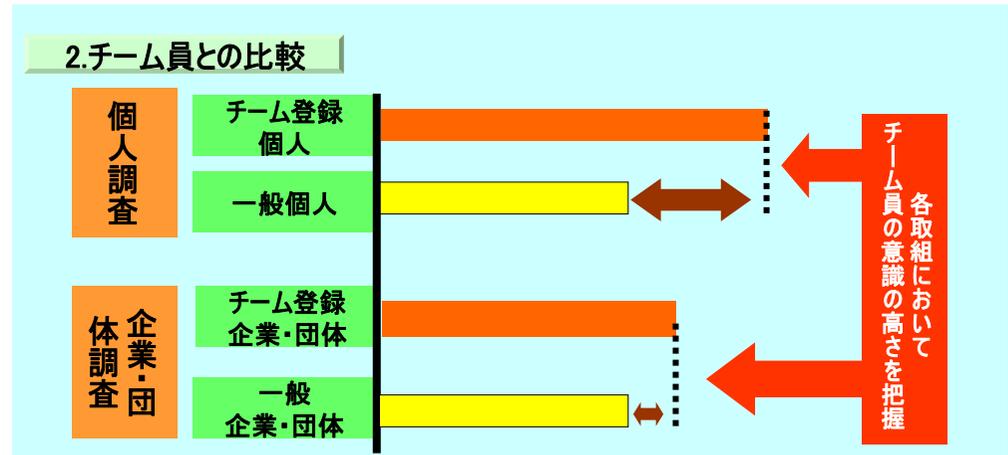


平成17年度の調査フレームを継続し、各取組について対前年比較を行う。また、企業／個人におけるチーム員と一般との比較も同様の視点で分析し、事業の進捗状況をきめ細かく把握する。削減量算出についても、本年度の調査フレームと算出式も同様に継続し、時系列比較の視点を加味して分析する。



上記のような視点にたった調査を及び分析を以下の4つの調査で実施。

- 一般個人調査
- 一般企業・団体調査
- チーム登録個人調査
- チーム登録企業・団体調査



リアルな実践状況を把握するため、実践直後の生活者意識をその場で聴取る手法として、携帯電話を通じた調査を効果測定サブシステムとして採用する。結果的に、今まで取りづらかった若年層のデータ収集、WEBサイトなどの連携も容易となる。



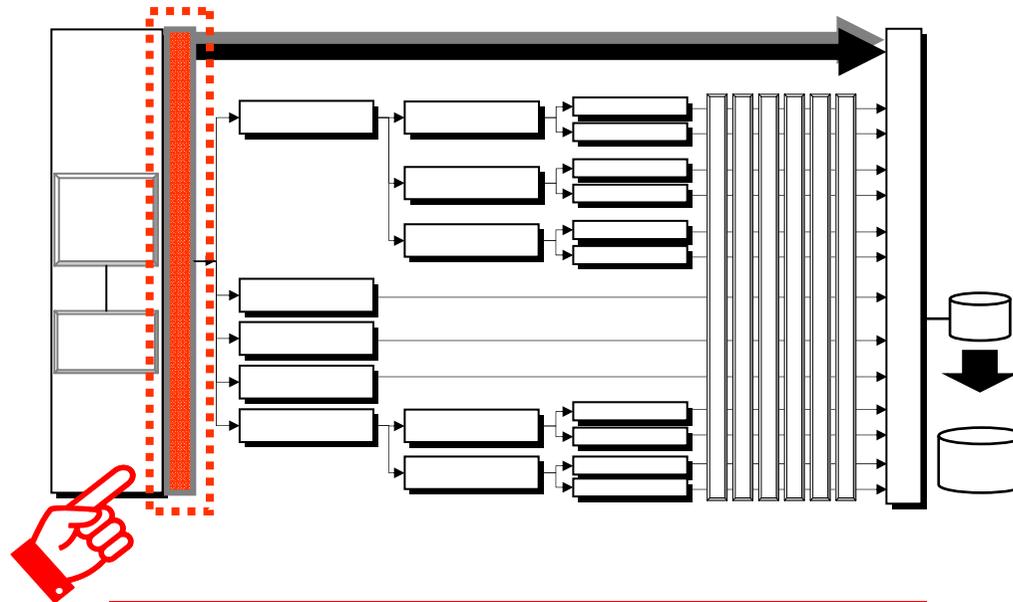
## イ) 計画詳細



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

※今回のご提案は実現性を十分考慮して企画しておりますが、本企画書に記載されております「特定団体名」「個人名」等につきましては、提案内容をご説明する上での『想定』であり、当該団体・個人についての交渉、本人確認等は全て行っているわけではありません。情報公開の際には、あらかじめこの点をご留意下さいようお願い申し上げます。



1.「実施体制の強化・拡充」について

計画詳細篇

